

年頭のご挨拶



(一社)吾妻法人会
会長 櫻井 芳樹

新年あけましておめでとうございます。会員並びに関係機関の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は当会の運営にあたり、ご支援ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

昨年元旦に発生した能登半島地震をはじめ近年は災害が多発し、備えの必要性が高まっております。また、経済では昨年3月に日銀が17年ぶりにマイナス金利を解除し、7月末に追加の利上げを行いました。市場ではサプライズに捉えられ、米国での利下げ、景気の後退の懸念と相まって株は暴落し、乱高下しました。今後も不確実な要素が多く注意が必要です。その代表が政治であり、昨年10月と11月に日米両国で選挙が行われた結果、日本では与党が今まで以上に野党と調整をして法案を挙げていかねばならず、色々な壁がありそうです。一方米国でもトランプ前大統領が勝利し、アメリカ第一主義の政策が徹底されることとなります。今後は高関税、パリ協定の離脱等の内向政策となり、日本は今まで以上に厳しい対応を迫られることが予想されます。

内外とも不透明な情勢の中、当法人会では事業を計画通り行うことができました。本年度も親会は税の提言活動、決算説明会等、女性部会は絵はがきコンクール、講演会等、青年部会は租税教室を中心に健康経営等に取り組んでまいります。

お祭りや会合が日常的に開催されるようになりました。法人会としても会員同士の懇親を深められるよう交流会等も開催してまいりたいと思います。

結びに会員並びに関係者の皆様のご多幸と、会員企業の益々のご発展を祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶



中之条税務署
署長 小林 厚夫

新年あけましておめでとうございます。

一般社団法人吾妻法人会の皆様方におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

櫻井会長をはじめ役員並びに会員の皆様には、平素から税務行政全般にわたり、深いご理解と格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

貴会におかれましては、正しい税知識の普及と納税意識の向上のため、研修会の開催のほか、会報誌「法人あがつま」による情報提供、青年部会を中心に租税教室への講師派遣など、幅広い事業活動を展開されております。女性部会の行われる「税に関する絵はがきコンクール」の優秀作品につきましては、税務署内並びに2月中はJR中之条駅待合室に掲示させていただく予定でありますので、是非ご覧いただければと思います。

さて、国税庁では、現在、税務行政のデジタル・トランスフォーメーション(DX)を推進しており、「納税者利便性の向上」、「課税・徴収の効率化・高度化等」に、「事業者のデジタル化促進」を加えた3つの柱を掲げています。

この「事業者のデジタル化促進」は、一般社団法人吾妻法人会の皆様を含む事業者の皆様にも、一時的に見ればご負担が生じるかもしれませんが、DXを推進することにより、社会全体にデジタル化のメリットが波及するものと考えております。この課題を含め、地域社会のリーダーである皆様と積極的に意見交換を行いながら、円滑な税務行政の推進に努めてまいりますので、引き続き、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人吾妻法人会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝と事業のご繁栄を祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。